

72 郁 達夫^{だっふ}文学碑と名大学生歌歌碑 —豊田講堂改修に伴い移設—

魯迅・郭沫若らにつぐ中国近代文学の代表的な作家である郁達夫（Yu Du-Fu, 1896年中国浙江省富陽県生まれ）の文学碑が本学の東山キャンパス内に設置されていることは、本連載第16回（No.123）で紹介しました。この文学碑は、郁達夫が本学の前身校である旧制第八高等学校（八高）の卒業生であったことから、同校同窓会である八高会によって1998（平成10）年6月に建てられたものです。

当時、文学碑は豊田講堂の北東角にあった芝生上（現在のホワイエの北側広場）に設置されていました。しかし現在は、2007年12月に竣工した豊田講堂の改修・増築工事に際して、豊田講堂の北西角部分に移設されています（写真1）。1960（昭和35）年に建設された豊田講堂はこれまでに数回の小規模な改修工事を受けていますが、今回の工事は講堂の建設から47年を経て建築家横文彦氏が再び設計を担当

するはじめての大規模な改修・増築工事となりました。

文学碑の移設場所については、2007年春から夏にかけて八高会との協議が行われ、複数の候補地の中から現在の場所が選ばれています。晴れた日の午後、豊田講堂とならんで陽光を浴びる移設後の文学碑は、これまで以上に存在感が増したようにみえます（写真2）。

また、今回の改修・増築工事に伴い移設された記念碑には、郁達夫文学碑のほかに歌碑「学生歌 若き我等」があります。この歌碑は、1962年に創団された名古屋大学応援団の創団30周年を記念して建てられたものです。これまで豊田講堂前庭の南西側植栽エリアに設置されていた同歌碑は、現在、同前庭西側にある芝生広場の一角に移設されています（写真3）。



1	2
3	4

- 1 移設後の文学碑
- 2 移設後の文学碑と豊田講堂
- 3 移設後の歌碑と豊田講堂
- 4 文学碑、歌碑設置場所地図

本連載で紹介できる名古屋大学の歴史に関する情報をお持ちでしたら、大学文書資料室(052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)へご連絡ください。